

前年度、600人規模で雇い止めや離職?! 解雇が予定された「無期」雇用376人 2004年度以降採用の反復更新者で無期転換申込権獲得は1人?! 1,370人が今年度の「限定正職員試験」の合否や「雇い止め」が問題に?!

(下表は、2018.12.21及び2019.1.31 大学回答より組合にて作成。)

【A】2018.3の「上限ちょうど5年」850人の2018.4における在職状況 (※2004.4以降採用者は皆「5年」に含む)

雇用形態		人数	備考 (組合によるメモ)
正職員		0	
限定正職員	業務限定職員 (一般)	62	
	(特殊)	163	
	目的限定職員	307	307人、解雇が予定された無期雇用→【問題A-1】
無期准職員・無期時間雇用職員	障害者雇用安定法対応	19	障害者の安定雇用を推進すべきです。
	上記以外 (=「5年超え」による無期転換)	0	「5年超え」による無期転換は現状でゼロだが、上段の「0」は無期転換の時期が2020.4だから。下段がほぼゼロであることは無期転換申込権を獲得した人がほぼゼロであるということ。→【問題A-2】
准職員・時間雇用職員	(上記の「無期」以外)	1	
他の職員		0	
上記の計		552	
850人との差 (=在職せず)		298	2018.3 末までに298人雇い止め?! →【問題A-3】

【B】2018.3の「上限5年未満」1,779人の2018.4における在職状況

雇用形態		人数	備考 (組合によるメモ)
正職員		0	
限定正職員	業務限定職員 (一般)	16	
	(特殊)	17	
	目的限定職員	69	69人、解雇が予定された無期雇用→【問題B-1】
無期准職員・無期時間雇用職員	障害者雇用安定法対応	1	障害者の安定雇用を推進すべきです。(1人だけ?)
	上記以外 (=「5年超え」による無期転換)	0	「5年超え」による無期転換は現状でゼロだが、上段の「0」は無期転換の時期が2020.4だから。下段の1,370人が今年度の「限定正職員試験」の合否や「雇い止め」が問題となる層だろう。→【問題B-2】
准職員・時間雇用職員	(上記の「無期」以外)	1,370	
他の職員		0	
上記の計		1,473	
1,779人との差 (=在職せず)		306	2018.3 末までに306人雇い止め?! →【問題B-3】

安定雇用へ、東北大学を CHANGE!

あなたも組合員に!

東北大学職員組合